

1. 目標

包括目標(Goal)

麻酔科研修の目標

- ① 基本的な手技を身につける
*マスク換気・気管挿管・胃管挿入・末梢静脈路確保・動脈ライン確保等
- ② 呼吸・循環管理の基礎を学ぶ
*患者をモニタリング(患者自体の観察、麻酔機器モニター)し、患者の状態を把握する
*麻酔器の人工呼吸器を設定し、適切な酸素化と換気を保つ
*適切な麻酔深度のもと、輸液や循環作動薬を用いて組織への十分な酸素供給を目的とした循環動態を維持する
- ③ 患者の痛みをとる手段を学ぶ
* 術後鎮痛を得るための鎮痛薬の使い方やその副作用を学ぶ
→麻薬・アセトアミノフェン・硬膜外麻酔・(神経ブロック)

個別目標 (Objectives)

- ① マスク換気・気管挿管 20 例以上/月
- ② 末梢ライン確保 20 例/月
- ③ 動脈ライン確保 5 例/月

2. 方略

● 麻酔科研修の流れ

<最初の 3 日間>

- ・ 全身麻酔の見学、末梢ラインの確保、胃管挿入
- ・ ゴミの分別と捨ててはいけないものを覚える

*絶対に捨ててはいけないもの：麻薬の空アンプル、空バイアル

- ・ 術前評価票の作成し、上級医と術前診察、麻酔同意書取得を行う
- ・ 麻酔準備票の書き方を覚える(前日 14 時まで提出)
- ・ 術前指示(前日 14 時までに入力)と術後指示の入力を覚える
- ・ 確実な麻薬の受け取り(受領サインをする)を覚える
- ・ 確実な麻薬返却伝票の処理を覚える→金庫に返す前に上級医に確認

*指示入力や麻薬の処理、でわからないことがあったら・・・

→自己判断せずに必ず上級医に相談する

<4 日目以降>

挿管テストに合格したら、自分の症例を担当

基本的には上級医が後ろ付きを行う

(上級医は複数の研修医の症例を監督することもある)

(麻酔科) 臨床研修プログラム

週間スケジュール

	月	火	水	木	金
集合時間	7:30	7:30	7:30	7:30	7:30
場所	カンファ室	カンファ室	カンファ室	カンファ室	カンファ室
午前	朝カンファ 麻酔研修	朝カンファ 麻酔研修	朝カンファ 麻酔研修	朝カンファ 麻酔研修	朝カンファ 麻酔研修
午後	麻酔研修 術後回診	麻酔研修 術後回診	麻酔研修 術後回診	麻酔研修 術後回診	麻酔研修 術後回診

3. 評価

1. EPOC 2 で評価 (形成的評価)

4. 指導医 (指導医養成講習会を受講した医師)

中原 真由美

森山 孝宏

松永 明

五代 幸平